

氏名	小 長 英 二
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 5 2 7 号
学位授与の日付	昭和47年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	Action mechanism in vitro of sensitized regional lymph node cells on target cell (In vitro における感作局所リンパ節細胞の標的細胞に対する作用機作について) 第1編 Ehrlich癌移植マウス局所リンパ節細胞とPHA誘発正常リンパ節細胞の、Ehrlich癌株化 (JTC-11) 細胞に対する抗増殖性について 第2編 Ehrlich癌移植マウス局所リンパ節細胞とPHA誘発正常リンパ節細胞の、Ehrlich癌株化 (JTC-11) 細胞に対する生物学的活性の異同について
論文審査委員	教授 砂 田 輝 武    教授 妹尾左知丸    教授 小 川 勝 士

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

In vitroで、Ehrlich癌移植マウスの局所リンパ節細胞は、抗原細胞に対し群集・接着し、細胞破壊に導き抗増殖性に作用する。この作用は、非特異的な PHA 付加正常リンパ節細胞の作用とは異なるものである。(1編)。この2つの反応の間には生物学的活性の点からも差異が認められる(2編)。その結果、感作リンパ節細胞にはPHAの様な物質の力をかりることなく、抗原細胞への特異的な接着を可能とするspecific surface receptorの存在を推察せしめる。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、in vitroで感作局所リンパ節細胞の標的細胞に対する作用機作について研究したものであるが、未だ不明な点の多い移植片拒絶の機作における感作リンパ節細胞の関与、その抗原細胞に対する作用態度、とくに抗原細胞への特異的な接着について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。